

一般質問



嶋田
議員

一、松浦市が取り組もうとしている木質バイオマス事業化の進捗状況と今後について
二、梶谷城線及び浜ノ脇線市道整備について

質問

一、(1)本市の森林面積は約6千ヘクタールと市全体面積の半分を占める。9月議会で木質バイオマス事業化の調査研究予算570万円が計上されたが、その進捗状況について伺います。

(2)森林整備による間伐材のほか雑木林、荒廃が進んでいる竹林等の材も含めて木質バイオマスの良い原料となる。林業振興と木質バイオマス事業化に向けて専門職の配置が必要だと思うが、市長の考えを伺いたい。

二、(1)市道梶谷城線については、市民によって梶谷城を保存する会が立ち上げられ、草払い、枝切りなど道路と一体的な環境整備に取り組んで頂いております。道路整備の現在までの進捗状況とこれからの考えについて伺います。

(2)市道浜ノ脇線の改良工事については、浜ノ脇公民館の上までに通じる420メートルの間を、24年度から26年度までの3年間で工事が完成すると確認してよいかわかります。

その他に松浦市東部工業団地の進捗状況と今後について、市民運動公園400メートルトラック、テニスコート整備などについて質問しました。

答弁

一、(1)現在、間伐材等を木質バイオマスとして活用するための調査を専門業者に委託するとともに、森林資源利用研究会を設置し、その事業化に向けた計画の樹立に取り組んでいる状況です。

(2)何とか事業化を進めたいとの考えを持つており、専任職員を配置することについて、人選を行い、事業の推進を図ってまいりたい。

二、(1)市道土肥ノ浦線との交差点から奥の駐車場までの間、約600メートルについては22年度末に測量設計業務を終えています。厳しい財政状況のため、現在は事業を休止しています。既に用地のご相談もできている状況でもありますので、事業化を前向きに検討いたします。

(2)ぎぎが浜海水浴場入口から浜ノ脇公民館先の三叉路までの間、420メートルについては22年6月末に路線測量及び道路詳細設計が完成しています。改良工事に必要な用地面積も確定しており、現在、契約に向けた準備を進めております。今後の工事工程としては、24年度から26年度までの3か年度で完成させる予定です。

一般質問



山口
議員

一、新福島大橋建設に向けた取り組みについて
二、土谷棚田火祭りについて

質問

一、(1)現在、福島大橋はどのような補修工事が行われているのか。

(2)福島大橋は島民の生活の生命線です。液化ガスの供給拠点として九州一円へ生活エネルギーが供給され、

国有の備蓄施設もあることから大型トレーラーも頻繁に通行しています。

長寿命化計画に基づき、費用対効果の観点から施設の延命を図ろうとされていますが、防災面からの対策はどうされているのか。

(3)地元では築45年を機に新福島大橋建設促進期成会が設立された。しかし、市が率先して県や国に働きかけなければ実現は難しい。市長としてどう判断されるのか。

二、地元の方々のご努力で四年ぶりに土谷棚田火祭りが復活し、幻想的な美しい光景を見ることができた。(1)市として来年度からも継続的な支援が頂けるのか。

(2)全国放送のテレビでも「黄金に輝く日本一の棚田」として放映された。放映があることを市民にも知らせることができないか。

(3)安全面からも周辺の道路側溝蓋や歩道の整備等を行うべきではないか。

答弁

一、(1)県が策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、本年11月より橋台橋脚のひび割れ補修工、橋面の防水や舗装工、塗装の塗り替え工事が実施されています。

(2)橋梁の長寿命化計画は、橋の構造上の劣化の具合を判断するもので、専ら補修整備の基本となるものです。

県や市の地域防災計画上は、特に橋については取り上げておりません。

(3)地域の皆様が期成会を立ち上げられたことは、新福島大橋の重要性を考えられ、その建設に向けての活動であると認識しています。市としても連携協力して取り組んでいきたいと思っています。

二、(1)継続的な支援を行いますので、よりよい火祭りとなるような取り組みを是非お願いしたい。

(2)松浦市を紹介するテレビ放送があれば、それは相当のPR効果があります。放映等の情報が入手できれば、今後できるだけ防災行政無線で市民に周知したいと思います。

(3)以前にも県に要望しておりますが、改めて場所の確認等を行い、再度県へは要望いたします。